

1. 授業の概要(ねらい)

国際コミュニケーションⅡ（ドイツ語）の後期の授業です。Ⅱ－Ⅰを修了した学生（もしくはそれと同等レベルの学生）が対象です。ドイツ語の基礎文法をひととおり最後まで習得し、ドイツ語入門～初級レベル（独検4級～3級レベル）の到達を目指します。

Ⅱ－Ⅰではテキストに即しながら、形容詞・比較表現・zu不定詞など、さらに発展的な内容を学習します。テキストを終了した後は、まだテキストで学習していない内容（受動態・関係代名詞など）を補助プリントで学習します。

授業では文法練習に割く時間が多くなりますが、会話練習やドイツ文化の紹介なども交えながら、なるべく楽しく授業を進めていきたいと思っています。

2. 授業の到達目標

- ・ドイツの文や文章をスムーズに発音することができる。
- ・形容詞の語尾を格変化させられることができる。
- ・zu 不定詞、受動態などの文を作ることができる。
- ・日常会話のフレーズを使って、パートナーと会話することができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①平常点（小テストを含む）… 約20%
- ②定期試験（中間試験・期末試験）… 約80%

4. 教科書・参考文献

教科書

清野智明・時田伊津子・牛山さおり著 『ドイツ語の時間くときめきミュンヘン』 コミュニカティブ版 ― マルチメディア』（Ⅰと同じテキストです）（朝日出版社）

独和辞典（電子辞書も可）も毎回、必ず持参してください。

5. 準備学修の内容

2点あります。

①ドイツ語の発音に慣れていただくことを重視します。したがって、授業外学習では、授業で扱った文章（扱う予定の文章）を繰り返し声に出して読んでくることが求められます。

②授業で扱った内容を定着させるため、文法練習問題のプリントを宿題として課します。次週までに自宅で行ってくることが求められます。

6. その他履修上の注意事項

この授業は、教養科目として初級者向けに開講されたドイツ語の授業です。したがって、外国語学部ドイツ語コースの学生は原則として履修が認められません。ただし、単位取得を要件としない受講は認められます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| | Lektion 9 食事 注文の仕方 |
| 【第2回】 | Lektion 9 食事 定冠詞類 (dieser/welcher) の練習 |
| 【第3回】 | Lektion 9 食事 副文の練習 |
| 【第4回】 | Lektion 10 クリスマス 比較表現 |
| 【第5回】 | Lektion 10 クリスマス 比較級と最上級 |
| 【第6回】 | Lektion 10 クリスマス 再帰代名詞と再帰動詞 |
| 【第7回】 | 中間試験 |
| 【第8回】 | Lektion 11 ファッション 形容詞の格変化 |
| 【第9回】 | Lektion 11 ファッション 天候の表現 |
| 【第10回】 | Lektion 12 私の夢 「もし～ならば..」の表現 / 接続法Ⅱ式 |
| 【第11回】 | Lektion 12 私の夢 zu不定詞を使った表現 |
| 【第12回】 | 補足プリント(1) 受動態(～される・された)の練習 |
| 【第13回】 | 補足プリント(2) 関係代名詞の練習 |
| 【第14回】 | 補足プリント(3) 関係代名詞・関係副詞の練習 |
| 【第15回】 | 授業のまとめと期末試験 |